

中学校 3年()組 ()番 名前()

学校教育目標や育成したい資質・能力を踏まえ、3年生の目指す姿を配付前に教職員が記入しましょう。生徒がイメージできるような具体的な姿で示すことがポイントです。配付時には、教職員の思いを生徒に説明しましょう。

卒業するときにはこんな自分になりたい

2年生までのキャリア・ログを振り返ることで、なりたい自分にどこまで近づけられたのか、更なる到達点の目標ができたかなど、現時点での自己評価を基になりたい自分を考え、自己決定させましょう。

1学期

1学期で目指す、なりたい自分の姿

卒業時の自己の目指す姿を踏まえて、自らの目指す姿を設定させてください。目指す姿が書けない生徒は、頑張ることを書かせてもよいです。

なりたい自分にどれだけ近づけたか、振り返りましょう

これまでの授業や学校行事の記録、上記の「なりたい自分の姿」などを基に記述させます。振り返りの視点は、生徒が自分で設定します。今学期頑張ったことなどを考え、自由に設定して構いません。学期ごとに違うことも考えられます。自分で設定することが難しい児童の場合、教職員が例示し、選択させるという方法も考えられます。
また、「できた・できていない」だけでなく、できるようになるために行動した自分にも気付かせることが何よりも大切です。できるようになっていなくても、そこに向けて力を注いだことがあることを伝え、「〇〇を続けた」など生徒の努力を自覚できるようにし、頑張りを認めることとして、肯定的に捉えられるよう支援をしましょう。

先生からのメッセージ

先生から生徒の頑張りができるようになったことなど、気付いたことを積極的に伝えることで、生徒が自らのよさや可能性を見いだしたり、自己肯定感を高めたりすることにつながります。

2学期

2学期で目指す、なりたい自分の姿

前の学期と内容が同じになる生徒もいます。頑張り続けていることとして認め、無理に変更させることがないようにしましょう。

なりたい自分にどれだけ近づけたか、振り返りましょう

()
()
()
()
()

先生からのメッセージ

)より

これまでの9枚の「キャリア・ログ」で振り返りながら

1 「なりたい自分」に近づくためにがんばったことや、影響を与えた出来事(思い出)は

キャリア・ログ等を見ながら今までの自分を振り返り、自分ができるようになったことや気付くことができたことなど、成長したことを整理しましょう。きっかけとなったり、影響を受けた出来事と関連付けたりして書くように支援しましょう。

2 私のよいところは

自らの成長を振り返ることで発見した、自分のよさも含め、多面的・多角的に自己を見つめ、肯定的に捉えることができるように声掛けをしましょう。

3 中学校卒業後、()で頑張りたいこと(夢)は

()には、上級学校や職場等、目指している次のステージが入ります。来年度から始める新しい生活に向け、挑戦したいことや、抱負等を表現させましょう。

4 大人になって目指したい「生き方」は

「大人」について、何歳頃の自分をイメージするかは生徒が決めますが、書きにくい生徒には、社会人として数年が過ぎている30歳頃をイメージさせましょう。大人になって、夢や目標にどのようにアプローチしているかなど、「自己実現」の視点で考えられるよう支援をしましょう。小学校第6学年の「しょう来は、こんな大人になりたい」等を見比べることも、自分の成長や変化を実感することにつながります。

家の人など

「これまでの9枚の『キャリア・ログ』で振り返りながら」の記述から、頑張りを認めたり、これからの成長に期待したりするメッセージをお願いします。

自分のことばでだれかに語ろう(表現してみよう)